



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第15週報 No. 1762 2012年(平成24年) 10月19日 第1762回例会記録 10月26日発行

司会 山本 芳弘 副幹事

結婚記念日祝 月山 勇 会員 (10月19日)

点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「それこそロータリー」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 大野 泰 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 横浜 R.C 大西 晴之 様
横浜 MM21 R.C 杉浦 武胤 様



本日〈10月26日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「手に手つないで」
 - ◆ 献立 洋食弁当
 - ◆ 卓話 「ロータリー財団・未来の夢計画について」
- 第2590地区 R財団委員会 委員長 志村 雄治 様
(紹介者 R財団委員会 友添 辰哉 委員長)

会長報告

飯田 泰之 会長

・10月度定例理事会報告

幹事報告

西山 潔 幹事

・本日、例会終了後にクラブ協議会を開催します。

場所 ジュビリーⅢ

- ・本日、組織表の最新版をボックスへ配布致しました。
- ・来年3月7日に開催されます第4・第5G INTERCITY MEETINGのパンフレットをボックスへ配布致しました。
- ・次週の例会場は14Fアネックスとなりますのでよろしくお願い致します。

スマイルボックス

横溝 亘 SAA

横浜R.C 大西晴之様 本日はお世話になります。

横浜MM21R.C 杉浦武胤様 本日はお世話になります。

月山 勇君 ①結婚祝い、ありがとうございました。これからもFuFu共々お月愛の程よろしく。②天野さん、昨日はお世話になりました。

飯田泰之君 ①ゲストスピーカーの大野泰様、卓話、よろしくお願ひします。②横浜R.C大西様、ようこそいらっしゃいました。

石川正三君 ①今日の卓話は神奈川大学の理事長を務められた大野泰（ヤスシ）さんです。ご静聴の程を……。②今日でクラブ在籍30年になります。例会の数にして1442回目です。かなり疲れて参りました。

山本 登君 遅刻しました。早退致します。ご容赦下さい。

西山 潔君 ①朝日さん、先日はお世話になりました。②大野様、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。

伊東英紀君 大野泰様、本日の卓話、よろしくお願ひします。

山田正憲君 大野様、大学の現況について、お話し楽しみにしています。

森永 健君 先日のワイン会、楽しませて頂きました。ありがとうございました。

茂木知子さん ～メラトニン分泌不足の会員が多い訳は～例会の様子を観察しますとメラトニン分泌不足の会員が多いように見うけられます。卓話で、光と睡眠の専門家のお話を伺い、原因が推測されました。原因は夜遅くまで起きていて、不健康な光をたくさん浴びるとメラトニン分泌が不足するそうです。飲酒や刺激的なことをしないことも、良い睡眠に役立つそうです。

白鳥厚夫君 来週26日例会後、国際奉仕委員会を3階ナイトで開催します。国際はもとより、暇な方、両手を広げて出席をお待ちしております。

小山市康君 大野泰様、お待ちしております。本日の卓話、よろしくお願ひします。

10月19日	13件	27,000円
本年度累計		761,000円

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	55名	(38+17)名	
出席会員数	45名	(33+12)名	
出席率		90.00%	
ゲスト	1名	ビジター	2名
前回補正後	92.16%	前々回補正後	94.12%

卓話**「大学経営について」**

学校法人神奈川大学 元理事長 大野 泰 様
(紹介者 石川 正三 会員)



私が大学の経営に携わっていたことを知っている人たちから「少子化が進み、人口も減っているのに何故、大学の数が年々増え続けているのか？」という質問を受けることがある。

確かに、大学を受験する「18歳の人口」は平成4年の205万人をピークに、年々減り続け、今年から平成29年までは何とか119万～123万人台で推移するものの、以後は大幅に減少、平成36年には106万人と今よりも更に13万人も少なくなるという、大学にとって深刻な人口予測がある。

これに対して、日本の大学の数は人口とは逆に毎年増え続けて、今年度の実数は

	大学数	%	学生数	%
国立	86	11.00	61万8千	21.50
公立	92	11.70	14万6千	5.10
私立	605	77.30	211万2千	73.40
合計	783校	100.00	287万6千人	100.00

となっており、私立が大学数で約8割、学生数で7割強を占める形になっている。

Monthly Report / September 2012

Lisa OBATA/USA

私の通う学校は Carroll high school (キャロル・ハイスクール) といって Fort Wayne (フォートウェイン) の北部に位置しています。4 学年 (中学 3 年と高校生) 全校生徒 2000 人程の大きな学校です。二学期制で、ある程度の基準が設けられてはいますが自分の教科は自由に選択することが出来ます。

《教科》

教科の中には写真・絵画・コンピューターグラフィックデザイン・料理・ピアノ・歌・外国語 (スペイン語, 日本語, フランス語)・栄養学 etc、さらに最終学年には経済や会計の授業があり、校舎面積も日本の高校の 4 倍近く広いので、まるで大学のような感じです。私が今学期とっている授業は、日本語・映像文学 (英語)・写真・自由学習・化学・物理・数学の 7 つです。各授業を受けて感じたことをまとめてみました。

1st Japanese

主にテキストを使って文法や単語を学びます。日本での英語の授業に少し似ています。生徒のみんなは優しく、お互いに文化の違いや発音、情報交換をおこなっています。私は同じテキストを受けながら最終学年の先生をしています。

2nd Film Literature

映画技術に関することから学び始め、現在は映像を見てエッセイを書き、情景描写の多い文章からそれぞれの文のもたらす効果について自分の意見を述べたりしています。文章作成、課題、議論の機会などが多く英語力の劣る私にとってはかなりキツイ授業といえますが日本では体験することの出来ないアメリカの高校生の実力を肌で感じ取れる貴重な授業です。

3rd Photography

デジタルではなくフィルムカメラについて学んでいます。薬品や機材の名称を覚え、撮影から印刷までを自分自身で行います。基本的には課題に沿った写真を撮りますが、数枚出来ると後は自由なので各々感性の赴くままに活動しています。専門学校ではないかと疑うほど生徒達の作品は素晴らしいです。

4th Study Hall

自分の課題をやったり、担当の先生に授業の分からない部分を教えてもらう時間です。私の教室は ESL といって海外か

この大学の増加を支えている大きな要因は、大学への進学率が大幅に上昇したことが上げられる。昭和30年に10%だった進学率 (浪人を含む) は、平成5年に30%を超え、平成17年には50%を、昨年度は何と56.2%まで上昇した。

特に女子は「短大志向」が近年「4年制大学への進学」に移行したことを反映して、平成5年の19%が昨年は44.80%まで伸び、大学生全体の42%を女子大生が占めるようになって、大学の経営を支える大きな力になっている。

さて、こうして集まった学生達に今の大学はどの様な方針で教育をし、産業界が求めている「一応の学力と共に、覇気と体力を持ち、馬力のある若者」を実際に育てているか・・・という問題がある。

朝日新聞が昨年行った「日本の大学が世界に通用する人材や、企業や社会が求める人材を育てているか」という世論調査では、残念ながら6割を超える人たちが否定的な回答をしており、大学の有り方や教育方針について、改革の必要性を求める声が年々高まっていることも事実である。

これに加えて、私立大学の場合は、国公立とは異なり、運営資金の4分の3を授業料で賄うという、財政上の問題もある。

今年度は私立大学の45%を超える264の大学で入学定員割れの状態が出ており、今後、財政的に運営の危機に追い込まれる大学が出る恐れもある。

この経済的な問題も含めて、私立大学の運営には、各大学とも教授会が関与することが多い。しかし、個々の研究や講義は出来ても、大学全体の運営や経営を大局的に見極めることの出来る教授は少なく、教授会が大学運営の実権を持ちすぎている大学ほど、急務である大学運営の改革が進まない (進めにくい) ことが多いようだ。

第二回クラブ協議会

10月19日 (金) 例会終了後、第二回クラブ協議会を開催致しました。

各委員長より進捗状況について報告がなされました。



ら転校して来た子と交換留学生が集められています。時に互いに教え合ったり、それぞれの国について話したりしてとても楽しい時間です。

5th Chemistry

教わることは同じだと思いますが、進みが遅く初歩的な事に多くの時間をかけています。ガスバーナーの使い方などをやりました(日本では中学で教わります)。実験のレポートを書くことが多く、私にとっては化学というよりは英語の授業といった感じです。

6th Physics

全員で行う実験が度々あることを除くと日本の授業にとっても似ています。問題のレベルは難しくありませんが英語をきちんと理解していないと思わぬ減点を招きます。

7th AP Calculus

極限・微分・積分について学びます。ほとんどが問題演習で定期的な小テストがあります。日本で学ばなかったことも出てくるため時々混乱しましたが、先生の教え方がとても丁寧で、無事進めることが出来ました。

ほとんどの授業で電卓(グラフ作成機能などを搭載しているコンピューターのようなもの)や教室の備え付けのパソコンを利用します。理系科目の試験やクイズ(小テスト)では、電卓を使用出来るため、割り切れたりする綺麗な数字が問題に出てくることはまずないです。

全ての教室にパソコンは配備されていて生徒達は各自のアカウントを使って課題を作成したり、小テストを受けたりします。また校内にはワイヤレスネットワークも設置されていて各自のパソコンを用いて課題をしたり、美術系の生徒達は自分の i-pad、タブレットなどを用いて作品を作ったり管理しています。

成績は常に学校のサイトから見る事が出来、自分のテストの結果から提出物の評価、コメントまですべてを見ることが出来ます。(もちろん父兄にも・・・)

《行事》

Home coming というお祭り騒ぎが1年に1度あります。日本の文化祭のように出店をしたり各団体で発表したりということはありませんが、一週間決められたテーマに沿って仮装して過ごし、金曜日の授業後に Powder puff (女子がフットボールのゲームをして男子がチアリーダーに扮するというイベント)、homecoming game(フットボールの試合)が行われます。Neon nation といってスタンドにたつ生徒達全員でネオンイエローの学校T-シャツを着て応援します。

ここで私は初めてキャロルのマーチングバンドを見たのですが、同じ高校生とは思えないくらいの迫真の演奏で圧倒されました。試合が終わった後にはそれぞれ仲のいいグループでパーティーやボンファイヤーなどが開催されます。たき火

を見ていたら高校の後夜祭を思い出して、日本とアメリカも変わらんと不思議とホットしました。

と、学校の話の半分も話せず長くなってしまいましたので、この続きはまた後ほどご報告致したいと思います。

こちらへ来て早2ヶ月半がたちましたが、いまだに自分のコミュニケーション能力に落胆するばかりです。言語の違いから間違ったリアクションをしてしまうことを恐れて、少々慎重に行動しすぎているのかもしれない。

最近話をして冗談を言い合える友達が出来ましたが、目標としている会話までは未だ到達していません。また授業やテストなどで解き方も答えも分かっているのに発言出来ないことが悔しくて仕方ありません。後悔のないように後ろ向きではなく前向きに毎日を過ごしていきたいと思います。



正面玄関



ホストクラブとクラブ旗交換
(クラブピンがかっこいいと評判でした)

次回《11月2日》の卓話予定

テーマ「ヨーロッパ最大の音楽イベント

『ユーロヴィジョン・ソング・コンテスト』

に見るヨーロッパ」

音楽評論家 山岸 伸一 様

(紹介者 小山 市康 会員)